



## 長期の経腸栄養管理で、セレンは足りていますか？

セレンは必須微量元素の1つで、通常の食生活では欠乏症をきたすことはありません。しかし、セレンを殆ど含有していない経腸栄養剤があり、そのような経腸栄養剤で長期に栄養を補給しているとセレン欠乏になります。また、静脈栄養を行う際に使用する高カロリー輸液用微量元素製剤にもセレンは含有されていません。中心静脈栄養患者で、適切にセレンを補充していない場合には、セレン欠乏になります。

●セレン欠乏は、心筋症、不整脈、易感染性、貧血、筋力低下

●セレン過剰は、胃腸障害、神経障害、呼吸不全症候群、心筋梗塞、腎障害

経腸栄養剤、特に医薬品はセレン含有量が少ないものが多いため、長期間投与例では、セレン欠乏症を念頭に入れた栄養管理が必要です。

食品ではCP-10ゼリーやアルジネードなど、セレンを多く含む栄養補助食品があります。



### セレン欠乏時の主な症状



	ツイ ライン	ラコ ール	エレン ター	エレンタ ールP	エンシ ユアH	エネー ボ	イノラ ス
カルニチン (mg)	ND	ND	ND	ND	ND	107	167
セレン(μg)	12	25	ND	ND	ND	67	56
ヨウ素(μg)	ND	ND	51	79	ND	ND	144
亜鉛(mg)	9.45	6.4	6	9	15	15	13.3
銅(mg)	0.23	1.25	0.7	1.1	1	1.6	1
マンガン (mg)	1.6	1.3	1	1.6	2	5	4.4
クロム(μg)	ND	ND	ND	ND	ND	100	44
モリブデン (μg)	ND	ND	ND	ND	ND	110	33

\*1000kcal 中の成分値です

## 院内採用薬品 アセレント注 100μg

### 低セレン血症

成人：セレンとして1日100μgを開始用量とし、高カロリー輸液等に添加し、中心静脈内に点滴静注します。

以後は、患者の状態により1日50~200μgの間で適宜用量を調整しますが、効果不十分な場合には1日300μgまで中心静脈内に点滴静注することができます。

\*小児については薬品情報参照してください。

なお、本剤の1日投与量を1日1回末梢静脈内に点滴静注又は緩徐に静脈内注射することもできます。



大きな栄養素ではありませんが、人体に及ぼす影響を考慮し、測定、投与を検討していくことが大切です。